

グローバル・ロボティクス株式ファンド (1年決算型)

運用報告書 (全体版)

第9期 (決算日 2024年7月22日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)」は、2024年7月22日に第9期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2015年8月31日から原則無期限です。	
運用方針	主として、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

<642851>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数		株式組入比率	純資産額			
	(分配落)	税金	分配金	期騰落	期中率					
	円		円		%	%	百万円			
5期(2020年7月20日)	17,607		0		21.9	179.16	19.3	94.9	293,792	
6期(2021年7月20日)	23,982		0		36.2	255.83	42.8	97.2	337,817	
7期(2022年7月20日)	23,644		0	△	1.4	242.71	△	5.1	96.4	317,696
8期(2023年7月20日)	30,837		0		30.4	315.29	29.9	96.8	365,660	
9期(2024年7月22日)	39,996		0		29.7	335.98	6.6	96.6	468,891	

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数は、ROBO Global Partners Ltdが開発した、世界のロボティクス関連等の株式を対象にした指数です。なお、設定時を100として2024年7月22日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数		株式組入比率	
		騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2023年7月20日	円 30,837	% —	315.29	% —	96.8	
7月末	30,956	0.4	312.98	△	0.7	97.8
8月末	30,781	△	300.29	△	4.8	97.5
9月末	29,713	△	282.61	△	10.4	96.3
10月末	28,157	△	258.37	△	18.1	97.1
11月末	31,636	2.6	290.95	△	7.7	96.4
12月末	32,826	6.5	310.29	△	1.6	97.8
2024年1月末	34,685	12.5	313.77	△	0.5	95.9
2月末	37,196	20.6	325.09	3.1		95.9
3月末	38,870	26.0	335.85	6.5		95.6
4月末	38,844	26.0	327.48	3.9		94.9
5月末	39,853	29.2	329.30	4.4		96.5
6月末	41,578	34.8	335.87	6.5		95.7
(期末) 2024年7月22日	39,996	29.7	335.98	6.6		96.6

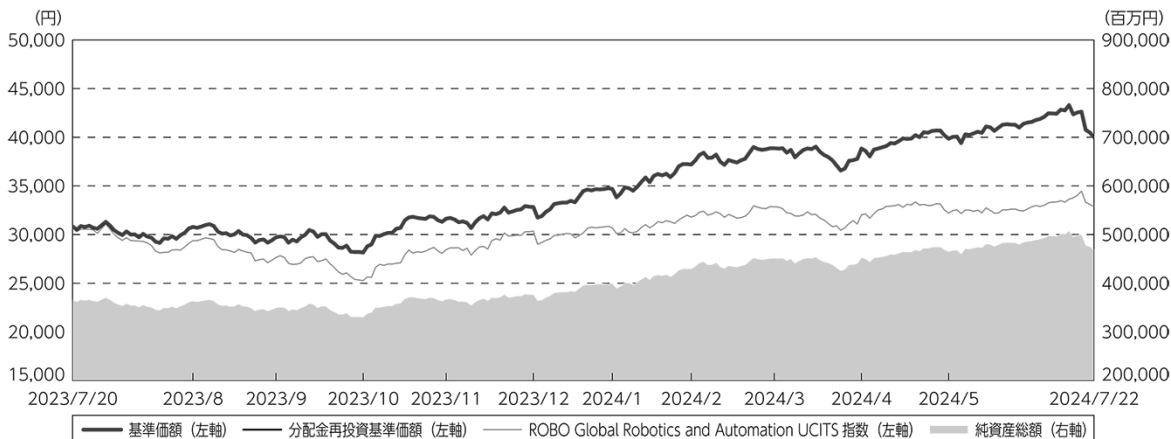
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2023年7月21日～2024年7月22日）

期中の基準価額等の推移



期首：30,837円

期末：39,996円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：29.7%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）分配金再投資基準価額およびROBO Global Robotics and Automation UCITS指数は、期首（2023年7月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているロボティクス関連企業の株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・生成AI強化のための需要増加とその利用に対する成長期待の高まりなどから、半導体およびソフトウェア産業の生成AI関連銘柄を中心にロボティクス関連銘柄が全体的に堅調に推移したこと。
- ・為替市場で円安の動きが進行したこと。

<値下がり要因>

- ・米国連邦準備制度理事会（FRB）が利下げに踏み切ると想定される時期が大きく後ずれしたこと。
- ・中東情勢などに関する地政学的リスクが懸念されたこと。

投資環境

（株式市況）

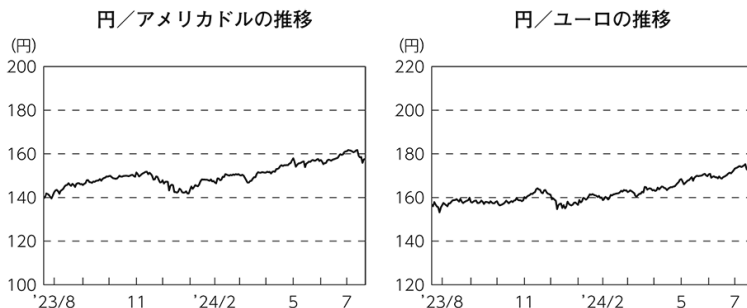
期間前半の世界の株式市場は、欧米主要国におけるインフレ動向と、米国を中心とした各国中央銀行の金融政策といったマクロ要因に大きく左右される展開となりました。期間の初めは、米国国債格下げや米国長期金利上昇に加え中国景気の後退懸念から、そして中東情勢の緊迫化などから株式市場は総じて軟調な展開が続きました。しかし、2023年11月に入ると、地政学的リスクに対する懸念は依然として継続しているものの、FRBの利上げ局面が終了したとの見方を受け長期金利が大幅に低下したことなどから株式市場は反発しました。以降も世界的に利上げ懸念が後退したことや、米国をはじめとして利下げ開始時期が意識され始めたことなどをを受け、株式市場は底堅く推移しました。

2024年4月、中東情勢をめぐる地政学的リスクの高まりが懸念されたことから、株式市場が下落する局面も見られました。しかし、注目された半導体関連銘柄の業績が想定以上のものとなったことが好感され、株式市場は反発に転じました。その後、英国やフランスでの解散総選挙など、政治面で不透明感が強まる場面も見られたものの、米国経済のソフトランディング（軟着陸）期待が下支えする形となり、株式市場は上昇基調が継続しました。期間末にかけてはやや軟化したものの、2023年11月以降は総じて上昇トレンドの中で推移しました。

ロボティクス関連銘柄の株価は、期間の初めは厳しい推移となったものの、その後は世界の株式市場に比べて概ね堅調に推移しました。特に期間の後半は、堅調な企業収益などを背景に世界の株式市場を牽引する形で堅調に推移しました。欧米主要国での金利上昇はマイナス要因となった一方で、生成AI需要の増加とその利用に対する成長期待の高まりなどから、半導体およびソフトウェア産業における生成AI関連銘柄を中心に、ロボティクス関連銘柄が全体的に堅調に推移しました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

（グローバル・ロボティクス株式マザーファンド）

ボトムアップアプローチを重視し、大きな変革期にあるロボティクス市場で高い成長が見込まれると考える企業に着目した運用を行ないました。

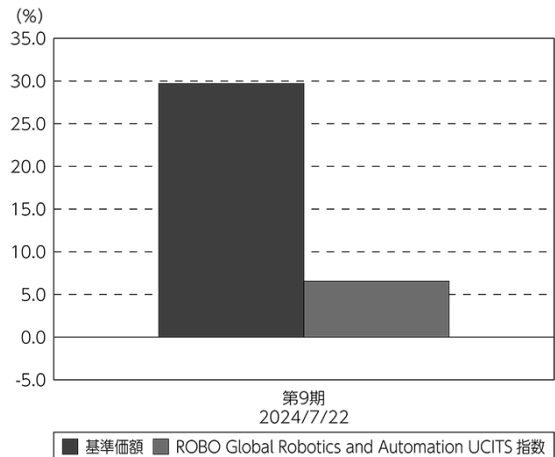
当期間は引き続き情報技術セクター、資本財・サービスセクターなどを中心に、インフレによる価格高騰を転嫁できると判断する企業、景気がスローダウンしてもダウンサイドを抑制できると期待される企業などに投資を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

（注）ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数は当ファンドの参考指数です。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第9期
	2023年7月21日～ 2024年7月22日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	29,996

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入で算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（グローバル・ロボティクス株式マザーファンド）

米国に先駆け欧州中央銀行（ECB）が利下げを実施しましたが、欧州では政治不安の高まりという不安材料があります。引き続き金融政策を据え置く米国も含め、高金利政策長期化による様々な影響に注意が必要との見方を変えていません。

米国では生成AI関連銘柄が相場を牽引していますが、生成AIの活用が2026年以降大きく伸長し、データセンター建設がさらに進めば、それを取り巻く電力設備関連の資本財企業など、周辺産業にも大きな恩恵もたらされる可能性に注目しています。生成AIを活用した技術が多様な産業の生産性向上や先進国の人手不足解消に有効な技術となり、ソフトウェア技術と既存の産業ロボットや物流自動化機器のようなハードウェア技術との融合を通じて中長期的に自動化領域が拡大していく方向性にますます注目しています。

ロボティクスにとって一層のデータ活用、サプライチェーン（供給網）見直し、賃金インフレなどの動きは自動化・自律化の追い風となると期待しています。また生成AIのようなソフトウェア技術と人型ロボットのような新たなハードウェア技術が融合すれば、より幅広い分野で自動化が進む可能性があると考えています。多くの技術が社会課題解決に活用される可能性を秘めており、中長期的にロボティクス関連銘柄の魅力は非常に高いと考えます。引き続き短期的な株価変動はむしろチャンスと捉え、バリュエーション（価値評価）を重視した運用を今後も継続していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2023年7月21日～2024年7月22日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	673	1.947	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(325)	(0.940)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(325)	(0.940)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(23)	(0.066)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.010	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(4)	(0.010)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(1)	(0.002)	
(d) そ の 他 費 用	7	0.019	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(2)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	(1)	(0.004)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の 標章使用料など
合 計	685	1.978	
期中の平均基準価額は、34,591円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

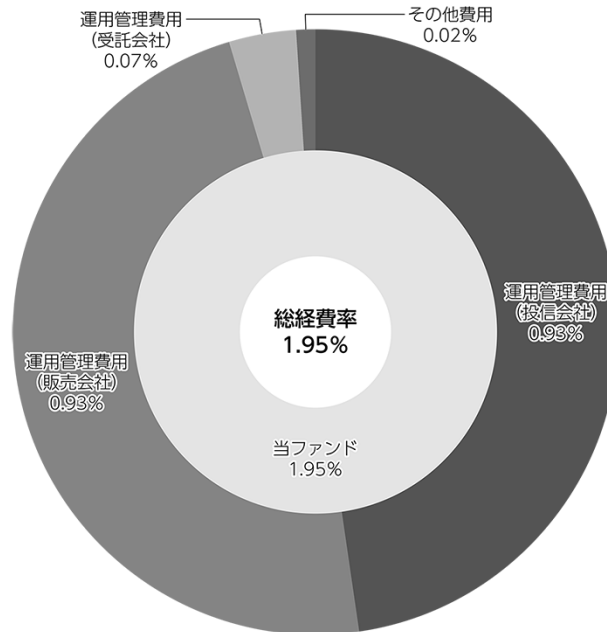
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.95%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年7月21日～2024年7月22日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	千口 815,987	千円 3,723,309	千口 4,562,834	千円 16,804,784

○株式売買比率

(2023年7月21日～2024年7月22日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	405,624,842千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	875,173,334千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.46	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2023年7月21日～2024年7月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年7月21日～2024年7月22日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年7月21日～2024年7月22日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年7月22日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	100,054,501	96,307,654	463,095,356

(注) 親投資信託の2024年7月22日現在の受益権総口数は、207,896,636千口です。

○投資信託財産の構成

(2024年7月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	463,095,356	97.7
コール・ローン等、その他	10,838,172	2.3
投資信託財産総額	473,933,528	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) グローバル・ロボティクス株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（794,885,544千円）の投資信託財産総額（1,064,348,254千円）に対する比率は74.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=157.54円、1ユーロ=171.62円、1スイスフラン=177.33円、1スウェーデンクローナ=14.79円、1ノルウェークローネ=14.45円、1新台幣ドル=4.8086円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年7月22日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	473,933,528,990
コール・ローン等	10,838,147,726
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド(評価額)	463,095,356,860
未収利息	24,404
(B) 負債	5,042,465,293
未払解約金	693,479,245
未払信託報酬	4,324,238,046
その他未払費用	24,748,002
(C) 純資産総額(A－B)	468,891,063,697
元本	117,234,260,640
次期繰越損益金	351,656,803,057
(D) 受益権総口数	117,234,260,640口
1万口当たり基準価額(C/D)	39,996円

(注) 当ファンドの期首元本額は118,580,311,942円、期中追加設定元本額は16,528,802,336円、期中一部解約元本額は17,874,853,638円です。

(注) 1口当たり純資産額は3.9996円です。

○損益の状況（2023年7月21日～2024年7月22日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,892,269
受取利息	2,488,505
支払利息	△ 596,236
(B) 有価証券売買損益	107,499,590,848
売買益	113,915,465,268
売買損	△ 6,415,874,420
(C) 信託報酬等	△ 7,883,483,324
(D) 当期損益金(A+B+C)	99,617,999,793
(E) 前期繰越損益金	149,315,016,809
(F) 追加信託差損益金	102,723,786,455
(配当等相当額)	(67,968,839,325)
(売買損益相当額)	(34,754,947,130)
(G) 計(D+E+F)	351,656,803,057
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	351,656,803,057
追加信託差損益金	102,723,786,455
(配当等相当額)	(68,010,643,000)
(売買損益相当額)	(34,713,143,455)
分配準備積立金	248,933,016,602

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2023年7月21日～2024年7月22日の期間に当ファンドが負担した費用は1,295,264,066円です。

(注) 分配金の計算過程(2023年7月21日～2024年7月22日)は以下の通りです。

項 目	2023年7月21日～ 2024年7月22日
a. 配当等収益(経費控除後)	3,039,428,832円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	96,578,570,961円
c. 信託約款に定める収益調整金	102,723,786,455円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	149,315,016,809円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	351,656,803,057円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	29,996円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

○お知らせ

約款変更について

2023年7月21日から2024年7月22日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、当該ファンドにて行なうデリバティブ取引および外国為替予約取引の利用目的を明確化するべく、2023年10月21日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（付表、第21条、第22条、第23条、第28条）
- 当ファンドについて、その商品性、基準価額水準および純資産規模等を勘案し、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、信託期間を無期限とするよう、2023年10月21日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第4条、第57条）

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

グローバル・ロボティクス株式マザーファンド

運用報告書

第9期（決算日 2024年7月22日）
（2023年7月21日～2024年7月22日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2015年8月31日から原則無期限です。
運用方針	主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているロボティクス関連企業の株式（預託証券を含みます。）に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているロボティクス関連企業の株式（預託証券を含みます。）に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、流動性などを勘案して行ないます。
株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。
外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。
ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<638110>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数 (参考指数)		株組入比率	純資産額
	期騰落	中率	期騰落	中率		
	円	%		%	%	百万円
5期(2020年7月20日)	19,418	24.5	179.16	19.3	95.9	667,087
6期(2021年7月20日)	27,053	39.3	255.83	42.8	98.0	729,909
7期(2022年7月20日)	27,195	0.5	242.71	△ 5.1	97.2	730,500
8期(2023年7月20日)	36,253	33.3	315.29	29.9	97.6	790,763
9期(2024年7月22日)	48,085	32.6	335.98	6.6	97.8	999,666

(注) ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数は、ROBO Global Partners Ltdが開発した、世界のロボティクス関連等の株式を対象にした指数です。なお、設定時を100として2024年7月22日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数 (参考指数)		株組入比率
	騰落	率	騰落	率	
(期首) 2023年7月20日	円	%		%	%
	36,253	—	315.29	—	97.6
7月末	36,416	0.4	312.98	△ 0.7	98.6
8月末	36,267	0.0	300.29	△ 4.8	98.4
9月末	35,050	△ 3.3	282.61	△ 10.4	97.2
10月末	33,254	△ 8.3	258.37	△ 18.1	97.9
11月末	37,461	3.3	290.95	△ 7.7	97.5
12月末	38,943	7.4	310.29	△ 1.6	98.8
2024年1月末	41,247	13.8	313.77	△ 0.5	97.1
2月末	44,340	22.3	325.09	3.1	97.1
3月末	46,434	28.1	335.85	6.5	96.8
4月末	46,482	28.2	327.48	3.9	96.1
5月末	47,780	31.8	329.30	4.4	97.5
6月末	49,946	37.8	335.87	6.5	96.8
(期末) 2024年7月22日					
	48,085	32.6	335.98	6.6	97.8

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2023年7月21日～2024年7月22日)

基準価額の推移

期間の初め36,253円の基準価額は、期間末に48,085円となり、騰落率は+32.6%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

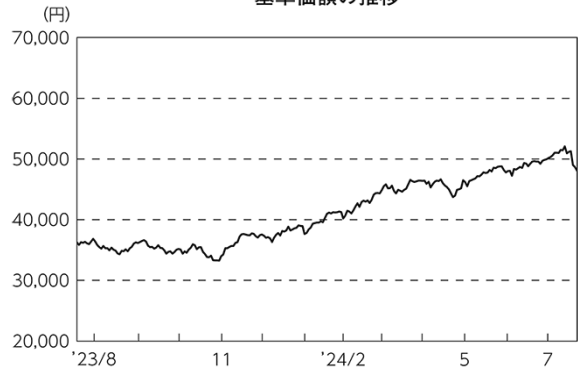
<値上がり要因>

- ・生成AI強化のための需要増加とその利用に対する成長期待の高まりなどから、半導体およびソフトウェア産業の生成AI関連銘柄を中心にロボティクス関連銘柄が全体的に堅調に推移したこと。
- ・為替市場で円安の動きが進行したこと。

<値下がり要因>

- ・米国連邦準備制度理事会（FRB）が利下げに踏み切ると想定される時期が大きく後ずれしたこと。
- ・中東情勢などに関する地政学的リスクが懸念されたこと。

基準価額の推移

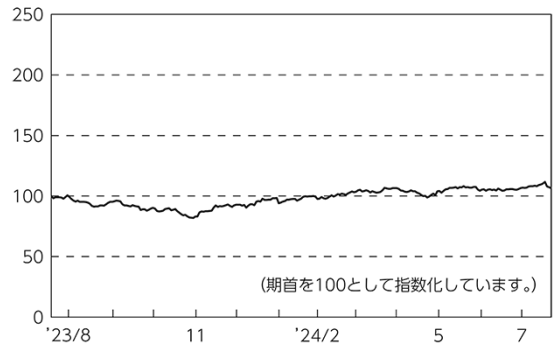


期首	期中高値	期中安値	期末
2023/07/20	2024/07/11	2023/10/31	2024/07/22
36,253円	52,080円	33,254円	48,085円

基準価額（指数化）の推移



ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数（指数化）の推移



(株式市況)

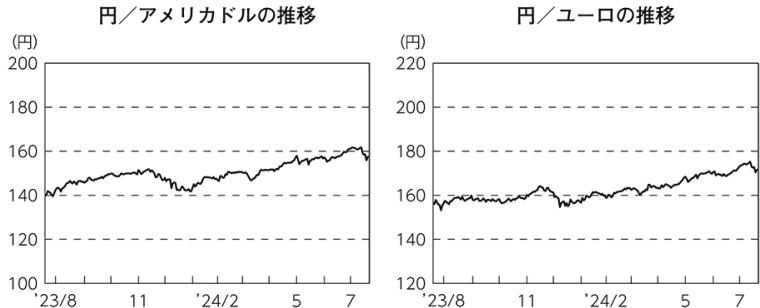
期間前半の世界の株式市場は、欧米主要国におけるインフレ動向と、米国を中心とした各国中央銀行の金融政策といったマクロ要因に大きく左右される展開となりました。期間の初めは、米国国債格下げや米国長期金利上昇に加え中国景気の後退懸念から、そして中東情勢の緊迫化などから株式市場は総じて軟調な展開が続きまし。しかし、2023年11月に入ると、地政学的リスクに対する懸念は依然として継続しているものの、FRBの利上げ局面が終了したとの見方を受け長期金利が大幅に低下したことなどから株式市場は反発しました。以降も世界的に利上げ懸念が後退したことや、米国をはじめとして利下げ開始時期が意識され始めたことなどをを受け、株式市場は底堅く推移しました。

2024年4月、中東情勢をめぐる地政学的リスクの高まりが懸念されたことから、株式市場が下落する局面も見られました。しかし、注目された半導体関連銘柄の業績が想定以上のものとなったことが好感され、株式市場は反発に転じました。その後、英国やフランスでの解散総選挙など、政治面で不透明感が強まる場面も見られたものの、米国経済のソフトランディング（軟着陸）期待が下支えする形となり、株式市場は上昇基調が継続しました。期間末にかけてはやや軟化したものの、2023年11月以降は総じて上昇トレンドの中で推移しました。

ロボティクス関連銘柄の株価は、期間の初めは厳しい推移となったものの、その後は世界の株式市場に比べて概ね堅調に推移しました。特に期間の後半は、堅調な企業収益などを背景に世界の株式市場を牽引する形で堅調に推移しました。欧米主要国での金利上昇はマイナス要因となった一方で、生成AI需要の増加とその利用に対する成長期待の高まりなどから、半導体およびソフトウェア産業における生成AI関連銘柄を中心に、ロボティクス関連銘柄が全体的に堅調に推移しました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



ポートフォリオ

ボトムアップアプローチを重視し、大きな変革期にあるロボティクス市場で高い成長が見込まれると考える企業に着目した運用を行ないました。

当期間は引き続き情報技術セクター、資本財・サービスセクターなどを中心に、インフレによる価格高騰を転嫁できると判断する企業、景気がスローダウンしてもダウンサイドを抑制できると期待される企業などに投資を行ないました。

○今後の運用方針

米国に先駆け欧州中央銀行（ECB）が利下げを実施しましたが、欧州では政治不安の高まりという不安材料があります。引き続き金融政策を据え置く米国も含め、高金利政策長期化による様々な影響に注意が必要との見方を変えていません。

米国では生成AI関連銘柄が相場を牽引していますが、生成AIの活用が2026年以降大きく伸長し、データセンター建設がさらに進めば、それを取り巻く電力設備関連の資本財企業など、周辺産業にも大きな恩恵がもたらされる可能性に注目しています。生成AIを活用した技術が多様な産業の生産性向上や先進国の人手不足解消に有効な技術となり、ソフトウェア技術と既存の産業ロボットや物流自動化機器のようなハードウェア技術との融合を通じて中長期的に自動化領域が拡大していく方向性にますます注目しています。

ロボティクスにとって一層のデータ活用、サプライチェーン（供給網）見直し、賃金インフレなどの動きは自動化・自律化の追い風となると期待しています。また生成AIのようなソフトウェア技術と人型ロボットのような新たなハードウェア技術が融合すれば、より幅広い分野で自動化が進む可能性があると考えています。多くの技術が社会課題解決に活用される可能性を秘めており、中長期的にロボティクス関連銘柄の魅力は非常に高いと考えます。引き続き短期的な株価変動はむしろチャンスと捉え、バリュエーション（価値評価）を重視した運用を今後も継続していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年7月21日～2024年7月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 4 (4)	% 0.010 (0.010)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.002 (0.002)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	5 (5)	0.011 (0.011)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	10	0.023	
期中の平均基準価額は、41,135円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年7月21日～2024年7月22日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株 9,142 (14,523)	千円 49,510,272 (-)	千株 3,936	千円 45,945,027
	アメリカ	百株 52,584 (49,809)	千アメリカドル 661,928 (119,093)	百株 44,727 (24,904)	千アメリカドル 863,847 (119,093)
外	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	5,485	73,948	5,036	29,083
	フランス	1,359	8,580	8,945	111,480
	オランダ	39	2,947	98	7,401
国	スイス	1,846	千スイスフラン 6,968	29,161	千スイスフラン 103,903
	スウェーデン	53,186	千スウェーデンクローナ 653,876	4,849	千スウェーデンクローナ 54,736
	ノルウェー	220,733	千ノルウェークローネ 370,505	-	千ノルウェークローネ -
	台湾	15,800	千新台幣ドル 1,215,111	11,090	千新台幣ドル 937,718

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2023年7月21日～2024年7月22日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	405,624,842千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	875,173,334千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.46

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2023年7月21日～2024年7月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年7月21日～2024年7月22日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2024年7月22日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
機械 (34.9%)				
オークマ	—	594.4	4,627,998	
ディスコ	936.5	462.8	23,098,348	
SMC	203.3	332.5	25,077,150	
ハーモニック・ドライブ・システムズ	1,147.4	1,176.6	5,018,199	
ダイフク	5,766.3	5,395.4	15,034,282	
THK	3,980.9	4,082.4	12,061,450	
電気機器 (60.0%)				
日立製作所	1,861.2	8,707.3	30,135,965	
三菱電機	—	5,788	15,723,102	
安川電機	1,801.253	2,138.053	11,524,105	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
ソニーグループ	875.8	819.5	11,849,970	
アドバンテスト	—	1,332.5	7,896,395	
キーエンス	461.6	431.8	30,541,214	
ファナック	2,451.9	2,294.3	9,957,262	
村田製作所	1,204.6	3,381.4	12,108,793	
東京エレクトロン	748.7	535.5	16,263,135	
輸送用機器 (5.1%)				
デンソー	1,347.6	5,043.8	12,483,405	
合 計	株 数 ・ 金 額	22,787	42,516	243,400,775
	銘柄数<比率>	13	16	<24.3%>

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	株数	当期		業種等		
		株数	評価額			
		株数	外貨建金額	邦貨換算金額		
		株数	千アメリカドル	千円		
(アメリカ)	百株	百株				
APTIV PLC	4,839	—	—	—	自動車・自動車部品	
EATON CORP PLC	5,648	4,287	133,710	21,064,730	資本財	
MICRON TECHNOLOGY INC	7,771	11,671	133,355	21,008,821	半導体・半導体製造装置	
PARKER HANNIFIN CORP	2,191	1,185	64,550	10,169,251	資本財	
IQVIA HOLDINGS INC	3,274	5,535	124,317	19,585,008	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ROCKWELL AUTOMATION INC	6,129	6,525	176,036	27,732,743	資本財	
STRYKER CORP	3,609	3,377	115,146	18,140,204	ヘルスケア機器・サービス	
TERADYNE INC	4,756	4,450	65,161	10,265,579	半導体・半導体製造装置	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	2,488	2,328	124,410	19,599,557	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ADOBE INC	—	1,882	103,700	16,336,961	ソフトウェア・サービス	
ADVANCED MICRO DEVICES	—	4,575	69,361	10,927,161	半導体・半導体製造装置	
AMAZON.COM INC	5,329	4,986	91,322	14,387,010	一般消費財・サービス流通・小売り	
ANALOG DEVICES INC	6,274	5,871	135,749	21,386,048	半導体・半導体製造装置	
ANSYS INC	2,744	2,567	80,765	12,723,827	ソフトウェア・サービス	
APPLIED MATERIALS INC	7,886	6,034	126,884	19,989,458	半導体・半導体製造装置	
ASPEN TECHNOLOGY INC	3,405	4,658	89,307	14,069,508	ソフトウェア・サービス	
AUTODESK INC	3,434	3,213	77,905	12,273,307	ソフトウェア・サービス	
COGNEX CORP	13,271	12,417	61,801	9,736,270	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ALPHABET INC-CL C	10,794	9,355	167,822	26,438,683	メディア・娯楽	
INTUITIVE SURGICAL INC	5,934	5,552	252,657	39,803,590	ヘルスケア機器・サービス	
IPG PHOTONICS CORP	9,318	8,719	76,753	12,091,723	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
MICROSOFT CORP	3,197	4,656	203,538	32,065,527	ソフトウェア・サービス	
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	10,922	10,219	90,719	14,291,974	半導体・半導体製造装置	
NVIDIA CORP	4,678	22,361	263,705	41,544,110	半導体・半導体製造装置	
NXP SEMICONDUCTORS NV	3,537	3,310	89,134	14,042,326	半導体・半導体製造装置	
PTC INC	4,751	4,445	78,204	12,320,342	ソフトウェア・サービス	
QUALCOMM INC	5,529	5,173	96,342	15,177,818	半導体・半導体製造装置	
SCHRODINGER INC	—	9,149	19,553	3,080,422	ヘルスケア機器・サービス	
SPLUNK INC	3,478	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
SYNOPSYS INC	2,317	1,433	80,724	12,717,318	ソフトウェア・サービス	
TRIMBLE INC	12,262	22,786	127,558	20,095,547	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ZEBRA TECHNOLOGIES CORP-CL A	2,995	2,803	90,104	14,195,041	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
小計	株数・金額	162,773	195,534	3,410,307	537,259,877	
	銘柄数<比率>	29	30	—	<53.7%>	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
INFINEON TECHNOLOGIES AG	38,165	35,710	118,201	20,285,745	半導体・半導体製造装置	
SIEMENS AG-REG	6,767	9,671	164,846	28,290,985	資本財	
小計	株数・金額	44,933	45,382	283,048	48,576,731	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<4.9%>	
(ユーロ…フランス)						
DASSAULT SYSTEMES SE	26,042	24,367	83,970	14,410,971	ソフトウェア・サービス	
SCHNEIDER ELECTRIC SE	10,192	4,281	95,442	16,379,907	資本財	
小計	株数・金額	36,235	28,649	179,413	30,790,878	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<3.1%>	

銘柄	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数		評 価 額
(ユーロ…オランダ) ASML HOLDING NV	百株 908	百株 850	千ユーロ 70,515	千円 12,101,920	半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 ・ 金 額 908	株 数 ・ 金 額 850	株 数 ・ 金 額 70,515	株 数 ・ 金 額 12,101,920	
	銘柄 数 < 比 率 > 1	銘柄 数 < 比 率 > 1	—	< 1.2% >	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額 82,077	株 数 ・ 金 額 74,881	株 数 ・ 金 額 532,977	株 数 ・ 金 額 91,469,530	
	銘柄 数 < 比 率 > 5	銘柄 数 < 比 率 > 5	—	< 9.2% >	
(スイス) ABB LTD-REG	59,927	32,612	千スイスフラン 157,483	27,926,547	資本財
小 計	株 数 ・ 金 額 59,927	株 数 ・ 金 額 32,612	株 数 ・ 金 額 157,483	株 数 ・ 金 額 27,926,547	
	銘柄 数 < 比 率 > 1	銘柄 数 < 比 率 > 1	—	< 2.8% >	
(スウェーデン) HEXAGON AB-B SHS	80,849	129,186	千スウェーデンクローナ 1,489,523	22,030,057	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小 計	株 数 ・ 金 額 80,849	株 数 ・ 金 額 129,186	株 数 ・ 金 額 1,489,523	株 数 ・ 金 額 22,030,057	
	銘柄 数 < 比 率 > 1	銘柄 数 < 比 率 > 1	—	< 2.2% >	
(ノルウェー) AUTOSTORE HOLDINGS LTD	196,450	417,184	千ノルウェークローネ 558,192	8,065,877	資本財
小 計	株 数 ・ 金 額 196,450	株 数 ・ 金 額 417,184	株 数 ・ 金 額 558,192	株 数 ・ 金 額 8,065,877	
	銘柄 数 < 比 率 > 1	銘柄 数 < 比 率 > 1	—	< 0.8% >	
(台湾) AIRTRAC INTERNATIONAL GROUP TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	37,343 60,590	34,943 67,700	千新台幣ドル 3,389,494 6,566,900	16,298,722 31,577,595	資本財 半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 ・ 金 額 97,933	株 数 ・ 金 額 102,643	株 数 ・ 金 額 9,956,394	株 数 ・ 金 額 47,876,317	
	銘柄 数 < 比 率 > 2	銘柄 数 < 比 率 > 2	—	< 4.8% >	
合 計	株 数 ・ 金 額 680,011	株 数 ・ 金 額 952,042	株 数 ・ 金 額 —	株 数 ・ 金 額 734,628,207	
	銘柄 数 < 比 率 > 39	銘柄 数 < 比 率 > 40	—	< 73.5% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2024年7月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 978,028,983	% 91.9
コール・ローン等、その他	86,319,271	8.1
投資信託財産総額	1,064,348,254	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産 (794,885,544千円) の投資信託財産総額 (1,064,348,254千円) に対する比率は74.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=157.54円、1ユーロ=171.62円、1スイスフラン=177.33円、1スウェーデンクローナ=14.79円、1ノルウェークローネ=14.45円、1新台幣ドル=4.8086円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年7月22日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	1,104,348,254,937	
コール・ローン等	66,495,904,728	
株式(評価額)	978,028,983,003	
未収入金	59,640,567,632	
未収配当金	182,767,618	
未収利息	31,956	
(B) 負債	104,681,646,729	
未払金	40,014,058,604	
未払解約金	64,667,588,125	
(C) 純資産総額(A-B)	999,666,608,208	
元本	207,896,636,882	
次期繰越損益金	791,769,971,326	
(D) 受益権総口数	207,896,636,882口	
1万口当たり基準価額(C/D)	48,085円	

(注) 当ファンドの期首元本額は218,121,866,371円、期中追加設定元本額は21,247,329,790円、期中一部解約元本額は31,472,559,279円です。

(注) 2024年7月22日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	105,129,946,159円
・グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	96,307,654,541円
・グローバル・ロボティクス株式ファンド(為替ヘッジあり・1年決算型)	3,348,678,170円
・グローバル・ロボティクス株式ファンド(為替ヘッジあり・年2回決算型)	2,628,114,110円
・グローバル・メガビース	482,243,902円

(注) 1口当たり純資産額は4.8085円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2023年7月21日から2024年7月22日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、当該ファンドにて行なうデリバティブ取引および外国為替予約取引の利用目的を明確化するべく、2023年10月21日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表、第19条、第20条、第21条、第26条)

○損益の状況 (2023年7月21日～2024年7月22日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	7,519,083,981	
受取配当金	7,516,513,360	
受取利息	3,103,366	
支払利息	△ 532,745	
(B) 有価証券売買損益	248,283,929,619	
売買益	286,344,866,818	
売買損	△ 38,060,937,199	
(C) 保管費用等	△ 106,079,674	
(D) 当期損益金(A+B+C)	255,696,933,926	
(E) 前期繰越損益金	572,641,645,040	
(F) 追加信託差損益金	67,584,338,619	
(G) 解約差損益金	△ 104,152,946,259	
(H) 計(D+E+F+G)	791,769,971,326	
次期繰越損益金(H)	791,769,971,326	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。